

富山県 臨床工学技士会

第24号 (2006.7) ニュース

発行日 平成18年7月1日
 発行人 富山県臨床工学技士会 森田 猛
 事務局 〒930-0194 富山市杉谷 2630
 富山大学附属病院 手術部内
 TEL 076-434-7760(ダイヤルイン)
 FAX 076-434-5080
 e-mail office@toyama-ce.gr.jp
 URL http://www.toyama-ce.gr.jp

会長挨拶

「日臨工意見交換会に参加して」

富山県臨床工学技士会 会長 森田 猛



じめじめとした蒸し暑い毎日が続いております。皆様体調の方はいかがでしょうか。さて、平成18年度通常総会、日臨工の川崎会長をお迎えした第27回臨床工学研修会も無事終了し、新年度の活動が既にスタートしております。6月11日(日)には恒例となりました、「心電図セミナー」も無事終わることができました。最近では例年になく、307名という多数のご参加をいただき、また当会の新入会の会員様にも多数ご参加頂きました。本当にありがとうございました。今回の心電図セミナーでのトピックスはなんとと言っても、参加者のご注文に応じてこちらで準備しましたお弁当のボリュームではなかったでしょうか。あまりの量の多さに食べきれなかった方も多かったのではないかと思います。

話は戻りますが、昨年度に続いて今年度も当県では多数の臨床工学技士の採用があり、当会が把握しているだけでも14～15名程度の新たな採用がありました。そのうち11名の皆様が先の通常総会までにご入会下さいました。残りの方も近日中にはご入会頂けるものと期待しております。新入会の皆様、日々の業務そして技士会活動に今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ところで先日の6月16日(金)、神戸市において社団法人 日本臨床工学技士会(日臨工)主催の「全国臨床工学技士会代表者意見交換会」に高道事務局長とともに出席してまいりました。これは日臨工が社団法人化される前に「都道府県臨床工学技士会代議員会」という名称で開催されていたものが社団化後は中止となっていたのですが、今年度より正式な「代議員会」ではないものの日臨工

が各都道府県技士会の生の声を聞く場として開催されたものです。今回は「組織力向上対策」をテーマに全国の都道府県技士会代表者(各2～3名)が一同に会い、事前に行われたアンケート結果をもとに意見を交換しました。それほど活発な討議とはいきませんでした。各県より社団法人化、行事参加者に対する点数制度、年会費の日臨工一括ファクタリング化や政治的活動等についての意見が出ていました。意見交換会終了後出席者による懇親会が開催され、こちらでも名刺交換を行いながらそれぞれ代表者同士いろいろ意見を交換し、楽しいひとときを過ごしました。翌日から開催されました「第16回日本臨床工学会」は過去最高の1300名以上の参加者そして242題もの一般演題の応募があり、各会員が日頃の研究成果を発表していました。

来年度の第17回は中部地区の名古屋で開催されず、当会会員の皆様も多数の参加をお願い致します。

最後になりましたが、総会でご承認頂きました今年度の当会の活動方針の中に昨年に引き続き、「社団法人化について検討を進める」という項目があります。都道府県技士会では「秋田県」、「北海道」が既に社団化しており、そして今月「岡山県」が社団化されます。当会においても先輩の各道県技士会のご意見も参考にしながら、社団化に向けていっそうの検討を進めてまいりたいと思います。今後とも会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。(2006.06.30)



全国臨床工学技士会代表者意見交換会(神戸市)